

平成19年度強い農業づくり交付金のうち 施設園芸における省エネルギー化を推進するための体制整備

【341億円の内数】

対策のポイント

原油価格高騰に耐え得る産地体制を確立するため、強い農業づくり交付金のメニューを追加し、施設園芸における省エネルギー化を推進するための緊急的な対策を実施します。

（原油価格高騰について）

- ・ 施設園芸の加温に使用されるA重油価格（農家購入価格）は、近年の原油価格高騰により、平成19年9月時点で平成16年度に比べ約1.5倍に上昇しています。

政策目標

施設園芸における燃油使用量の削減

<内容>

○ 施設園芸の省エネルギー化の推進

原油価格高騰に耐え得る体制を整備し、産地競争力を強化する観点から、「施設園芸省エネルギー化推進計画」^{※1}を策定するとともに、「施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート」^{※2}を実践する産地が、温室のエネルギー利用効率を高め、加温用燃油の使用量を低減するために必要な以下の取組を支援します。

野菜、花き又は果樹の施設園芸農家が共同で行う

- ① 温室内の保温性を高めるための外張りの多重化（例. 1重被覆→2重被覆）及び内張りの多層化（例. 2層カーテン→3層カーテン）
- ② 温度管理をきめ細かく行うための多段式サーモ装置の整備
- ③ 温室内の温度ムラを抑えるための循環扇の整備 等

※1 施設園芸におけるA重油等燃油の消費量削減に資する省エネルギー技術の導入により、原油価格高騰に耐え得る産地の体質強化を図るための行動計画（知事認定）

※2 農業生産現場での省エネルギー対策を促進するため、省エネルギー効果のある生産管理の実践状況や燃料の削減量を把握するチェックシート

【事業実施主体：農業者団体、民間団体】

【補助率：定額（1／2以内）】

【事業実施期間：平成19年度】

[担当課：生産局園芸課（03-3502-5957（直））]